

JAグループ宮城 災害対策ニュース (総合版)

第 9 号

【平成 23 年 3 月 31 日 (木) 発行】
発行：JAグループ宮城災害対策本部
編集：JA宮城中央会
〒980 - 0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022 - 264 - 8697 又は 264-8207
FAX 番号：022 - 216 - 4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

目次

対策本部からの情報提供

1. 東日本大震災に伴う農業関連の被害状況について
 - (1) 津波による農地の被害面積について
 - (2) 農地・農業関係施設等の被害額について
2. 被災地向けおにぎり製造支援の延長について

対策本部からの情報提供

1. 東日本大震災に伴う農業関連の被害状況について

(1) 津波による農地の被害面積について

農林水産省より、津波により流失や冠水等の被害を受けた農地の推定面積が公表されました。それによると、3月29日段階において、全国で23,600haの農地が流失・冠水等の被害を受けたことが明らかになりました。

そのうち、宮城県内の農地については、県内耕地面積の11.0%にあたる15,002haが被害を受けており、他県の比較でも、最も被害状況が大きいことが明らかになりました。

また、市町村別の被害状況では、亘理町が最も大きく2,711ha、次いで仙台市の2,681ha、石巻市の2,107haと、この3市町で被害面積が2千haを超えています。

(2) 農地・農業関係施設等の被害額について

宮城県庁より、今回の震災に伴う県内農地・農業関係施設等の被害額が公表されました。それによると、3月31日段階において、県内の農林水産関連の被害総額は約8,491億円に上っており、うち、農業関連被害額は約4,120億円となっていることが明らかになりました。また、農業関連被害額の98.6%にあたる約4,063億円が津波による被害となっています。

類型別の被害状況では、農地、用排水機場等の「農地・農業用施設」の被害が約3,573億円と、農業関連被害額の大半を占めているほか、園芸施設、農業倉庫等「農業関係施設」の被害が約301億円、農作物等の被害額が約26億円となっています。

また、生乳等の出荷停止による被害額が7億円に上るなど、地震発生後に生じている二次的被害による影響も拡大しています。

2. 被災地向けおにぎり製造支援の延長について

JAグループ宮城では、JAグループによる被災地への人的・物的支援の一環として、JAあさひな本店の調理室を借用し、3月22日より被災地向けおにぎりの製造を行っております。当初、31日までの取り組みとしておりましたが、被災地からの継続の要望が高かったため、今般4月10日までの取り組み延長を決定しました。

3月31日までは、JAあさひな、JA古川、JAみどりの、JA加美よつばの役職員・女性部員、ならびに、中央会・連合会の職員によって、一日あたり3,000個の製造を行ってきまし

た。4月1日から4月10日までの10日間については、上記役職員に加えて、JAみやぎ仙南、JA栗っこ、JAみやぎ登米、JAいわでやまからも応援を頂いておにぎりを製造し、全量を自衛隊を通じて女川町の避難所へ届ける予定となっております。なお、おにぎりの製造にあたっては、パールライス宮城を通じて宮城米が使用されます。

以 上